

## B&G海洋センタープールリニューアル工事の助成決定

公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団は2022年度の修繕助成金を芦別市に交付することに決定しました。

5月24日、同財団の菅原悟志理事長が市長室を訪れ、2,660万円の助成決定通知書を手渡しました。

これは、施設の老朽化に伴い、ろ過機取替、缶体塗装、プール内照明L

ED化などの改修工事を行います。助成の決定理由は、健全運営の指針とする海洋センター評価において、最も優良な特A評価を8年間継続していて、今後も末長く施設を活用する計画や姿勢が高く評価されたことによるものです。

2022年度の改修費用の助成は、空知管内では芦別市のみとのことです。



## 星槎国際高生による、旭ヶ丘公園花壇の花植え



星槎国際高校芦別学習センターでは、6月3日に地域ボランティア活動の一環として、旭ヶ丘公園中央花壇の花植えを行いました。

同校の1年生から3年生の生徒11人が芦別市と連携して、市の活性化を目的に授業の一環として行っています。

当日は、市から用意された3種のペチュニア210株、2種のマリーゴールド140株を植えました。

生徒たちが直径5.5㍍の円形の花壇内にハート型のラインを引き、間隔を空けながら、花の色を合わせて苗を置いていき、一株ずつ丁寧に植えていました。

## 芦別ライオンズクラブ認証60周年にバスケットゴールを寄贈

6月8日、芦別ライオンズクラブ(沼田哲男会長)は総合体育館屋外で3×3バスケットゴールの贈呈式を行いました。

芦別ライオンズクラブ認証60周年記念事業の一環として、青少年の健全育成と地域の交流発展を目的に市に寄贈したものです。

寄贈されたゴールは、3.05㍍の一般用と2.6㍍のジュニア用の2基。総合体育館第1駐車場に仕切りを設置し、コートライン2面分の塗装も施されました。

沼田会長は「今後も地域のため、歩みを止めることなくまい進したい」と挨拶を述べていました。



## 文化財など巡回して見学。地域再発見ツアーが開催



6月11日、星の降る里百年記念館が主催する「地域再発見ツアー芦別北エリア編」が開催されました。

当日は、4人の市民が参加し、1913年に建築された市内最古のレンガ建造物である常磐町の「旧干場家レンガ倉庫」や新城町の「夫婦滝」、黄金町の「黄金水松」=写真

=などの市内北エリアに点在する文化財や景勝地を、バスで移動しながら見学して回りました。

参加者は、山口学芸員(星の降る里百年記念館)の解説に耳を傾け、「まだまだ知らないことがたくさんある。次回も楽しみです」とツアーを満喫していました。